

事業群評価調書(令和6年度実施)

基本戦略名	2-1 新しい時代に対応した力強い産業を育てる	事業群主管所属・課(室)長名	産業労働部 企業振興課	香月 康夫
施策名	1 成長分野の新産業創出・育成	事業群関係課(室)		
事業群名	④ 新たな基幹産業の創出(航空機関連産業)	令和5年度事業費(千円)	※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額	160,390

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)							(取組項目)			
世界的な拡大が見込まれる民間航空機需要を取り込み、受注拡大と雇用創出を図るため、航空機関連産業への県内企業の新規参入や企業間連携によるサプライチェーン構築・強化を促進するとともに、付加価値の高い航空エンジン部門での一貫生産体制の構築を目指し、県内企業の技術力向上、クラスター機能の強化など必要な環境整備を推進します。							i) 中核企業（大企業等）の誘致 ii) 企業間連携や認証取得等による県内企業の育成・新規参入の支援			
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 令和2年度に本県に進出した大手重工メーカーのエンジン工場について、令和5年度末に拡張工事が完成し、今後生産設備の導入が進められるなど、本県航空機産業の中核企業の事業拡大が進んでいる。全国的な人手不足もあり、雇用者数の進捗はやや遅れているものの、当該工場拡張に併せ、採用を進めているところであり、雇用者も徐々に増加している。また、地場企業への発注拡大を働きかけたことで、県内への受注増加といった成果も生まれている。 さらに、県内企業の新規参入を促進するため、専門家派遣やセミナー開催、認証取得の支援、企業間連携の促進を実施し、認証取得企業は取得見込のものも含め14社（九州1位）となったほか、治具等の製造など、具体的な受注を獲得する企業も出てきており、サプライチェーンの構築・強化が一定進んでいる状況である。
	航空機関連産業における売上高	目標値①		66億円	72億円	180億円	215億円	250億円	250億円（R7）	
		実績値②	50億円（H30）	111億円	200億円	算定中			進捗状況	
		達成率②／①		168%	277%	—			順調	
	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	
	航空機関連産業における雇用者数	目標値①		658人	722人	790人	867人	950人	950人（R7）	
		実績値②	500人（H30）	643人	662人	算定中			進捗状況	
		達成率②／①		97%	91%	—			やや遅れ	

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和5年度事業内容及び実施状況 （令和6年度新規・補正事業は事業内容）	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和5年度事業の成果等
				R4実績	うち 一般財源	人件費 （参考）		主な指標	R4目標	R4実績	達成率	
				R5実績					R5目標	R5実績		
				R6計画					事業実施の根拠法令等			
				事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業		他の評価 対象事業 （公共、研究等）				
				所管課(室)名				事業対象				
取組項目 ii	○	1	次世代基幹産業育成事業				●事業内容 世界的な需要拡大が見込まれる航空機関連産業について、海外メーカーや国内大手重工との新たな直接取引を支援。 ●実施状況 航空機産業のサプライチェーン拡大・強化を図り、県内企業の規模拡大や県外受注の獲得を目指す取組を支援した。	【活動指標】 県内企業と航空機関連メーカー（Tier1）等とのマッチング（件）				●事業の成果 ・コロナ禍において、大きな影響を受けた航空機産業は、旅客需要の増加により徐々に回復しつつある。展示会などの機会を活かし、海外大手メーカーとの面談を設定することにより、地場企業とのマッチング件数は目標を達成した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・本事業の成果は事業群の成果と同じであるが、認証取得支援や企業間連携の促進などの取組により、県内企業によるサプライチェーンの構築・強化が図られている。
				160,390	80,892	13,117			23	23	100%	
				148,122	75,181	9,337			23			
			R5-7	—			県内航空機関連産業売上高(億円)	180	算定中	—		
			企業振興課	—	—	—		215				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 中核企業（大企業等）の誘致			●実績の検証及び解決すべき課題 令和2年度に進出した大手重工メーカーの拡張工事は、令和6年3月に完成し、現在、生産設備の搬入が進められている。県内航空機産業は順調に成長・集積が進んでいるが、航空機産業を本県の基幹産業とするためには、サプライチェーンの更なる強靱化を図るとともに、新たな国内大手重工等からの新たな受注獲得による、県内企業への発注拡大を進めるため、中核企業（大企業等）の誘致・育成が必要である。	●課題解決に向けた方向性 中核企業の新たな需要獲得に向け、国内外の展示会出展支援等の取引拡大支援を行うとともに、航空機産業の需要増加を見据え、次なる中核企業（大企業等）の誘致・育成に積極的に取り組む。
ii 企業間連携や認証取得等による県内企業の育成・新規参入の支援			●実績の検証及び解決すべき課題 航空機事業への参入に必要な認証取得（JISQ9100）の取得企業数はさらに増加し九州第1位を維持している。また積極的なマッチングの結果、大手重工メーカーとの取引を行う県内企業も現れている。一方で、更なる取引拡大にはサプライチェーンの強化が必要であるため、既参入企業の技術力強化及び品質管理体制の構築ならびに一貫生産体制構築に向けた企業間の連携が引き続き課題である。	●課題解決に向けた方向性 意欲が高い企業の新規参入や取引拡大のため、県外企業とのビジネスマッチングに加え、技術力向上のための専門家派遣、試作支援や品質保証セミナー開催などによる人材育成に取り組んでいく。また参入企業には、受注獲得と並行した県内協力企業の開拓を求めることにより、一層の一貫生産体制の構築を進める。

4. 令和6年度見直し内容及び令和7年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和6年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和6年度の新たな取組は「R6新規」等と、見直しがない場合は「―」と記載	令和7年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 ii	○	1	次世代基幹産業育成事業	サプライチェーンのさらなる強靱化を図るため、中核企業となりえる企業の取組について支援を行い成長を図ることに加え、中核企業を中心とした航空機部品の試作品製造にも新たに取り組む、企業間の連携強化を目指す。	②	航空機産業の基幹産業化に向け、海外メーカーや国内大手重工と具体的な取引につながる受注体制の整備に向けた中核企業の支援に併せ、ビジネスマッチングの機会創出や中核企業との連携構築の支援など参入意欲を高める取組を検討する。	改善
			R5-7				
			企業振興課				

注:「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】
① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩ その他の視点